

信州・北信濃「木島平村における伝統文化と生物多様性のつながり」～伝統文化を守り、希少種の保全の方法を探る～

〒381-4101
長野県長野市戸隠字午王峯3688-9
<http://npo.raposa.jp>



はじめる助成

1年目

調査研究



サシバの生息する里山

サシバの生態調査達成率 **85%**

イベントの延べ参加者 **19人**

今年度計画の達成度 **95%**

活動の全体目標に対する達成度 **70%**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

調査結果を普及啓発するためにイベントを実施したが、告知をする手段が少なく、参加者を集めることに苦勞した。

■ 工夫した点

イベントを実施するときは地元の団体や木島平村の協力を得て、まずは地域の皆さんにサシバについて知ってもらえるように努めた。



課題

木島平村の伝統文化を守りつつ、希少種のサシバを保全する方法を探ること。

目標

サシバの保全活動を行うことが、伝統文化の継承にも寄与することを明らかにする。

活動内容と成果

伝統文化である内山和紙は、楮を原料としている(楮の樹皮は古くから和紙の材料)。この楮畑がサシバの狩り場として機能しているのかを調べた。その結果、楮畑でのサシバの狩り行動は見られなかったが、探餌場所としては利用し

ていた。楮畑で狩り行動が見られなかったのは、楮畑の面積が小さいからであると考えられた。サシバは遊休農地を狩り場としてはあまり利用しないが、ここを楮畑に転換し適切に管理することで、サシバの餌場を創出することができると思われた。つまり、伝統文化を守りつつ、希少種を保全することは十分可能である。



紙すき体験

今後の展望

楮畑がサシバの餌場として機能する管理手法を確立し、サシバの利用状況を把握したい。